

# 比例名簿 実績優先 大島候補第4位にランク!



平成4年  
7月8日  
号 外

発行所

広島県歯科医師  
政治連盟

広島市中区富士見町11-9  
TEL (082) 241-4197

編集兼発行人 青井隆男

七月二十六日

投票日

一人でも多く

投票へ!!

## 二十一世紀への道

### 十八日間の熱い戦い

#### 第十六回

# 参院選スタート

第十六回参院選挙は七月八日に公示され、同二十六日に投票となった。自民党は七日、参議院比例代表選挙の候補者二十七人の名簿登載順位を決定、発表した。我々歯科界の代表として、日歯政連推薦を受けた大島慶久候補は堂々の第四位にランクされた。これは昨年より懸命に支援運動を展開してきた全国の歯科医師会会員の熱い努力の賜物である。



必勝のダルマの筆に力の込める大島候補

#### 〔出陣式〕

自由民主党公認、参議院選挙比例代表候補者、大島慶久氏の出陣式は、七月八日午前十時より市ヶ谷の新歯科医師会館大会議室において、光安日歯政連副理事長司会のもとに開催された。

式は西向天神社宮司により修祓、降神、献餅と続き、祝詞奏上では、大島候補及び日歯の活躍を祈る詞が奏上された。

玉串奉奠に神事が移り、大島慶久候補に次いで中原爽日歯・政連会長、秋山日歯政連選対本部長、さらに自民党代表として、経世会代表の奥田敬和運輸大臣、田窪才祐日歯代議員会議長

等日歯並びに日歯政連役員、日本技工士会佐野会長、日本歯科衛生士会金沢会長、歯科関係団体や東京生命その他支援団体の代表がそれぞれ神前に玉串を必勝を願って奉げた。

全国各地から馳せ参じた歯科医師会の役員の前には、第四位という喜びの笑顔と同時に、今日から十八日間に賭けるなみなみならぬ決意の程がうかがえる華やかな出陣式であった。

出陣式終了後、直ちに同じ会場で「21世紀の国民歯科医療と福祉を考えるつどい」が、光安日歯政連副理事長の司会により開催された。

### 第十六回参議院議員通常選挙 比例代表選出議員公認候補者

自由民主党

(平四・七・七)

順 候補者 (年齢) 経 歴

- 1 井上 孝(66)現、二期、参議院議員運営委員長
- 2 下稲葉 耕 吉(65)現、一期、党法務部会長代理
- 3 村上 正 邦(59)現、二期、党参議院国会対策委員長
- 4 大島 慶 久(51)現、一期、参議院大蔵委員会委員
- 5 岡部 三 郎(65)現、二期、元参議院農林水産委員長
- 6 泉 信 也(54)新、前運輸省官房審議官
- 7 藤 江 弘 一(62)新、軍恩連盟会長
- 8 野 沢 太 三(58)現、一期、参議院議員運営委員会理事
- 9 岡 利 定(58)新、前郵政省官房審議官
- 10 大河原 太一郎(69)現、二期、党総合農政調査会会長代理
- 11 永野 茂 門(69)現、一期、党国防部会副部長
- 12 清水 達 雄(58)新、元国土庁事務次官
- 13 松 浦 功(68)現、二期、党法務部会長
- 14 久 世 公 堯(63)現、一期、前農林水産政務次官
- 15 板 垣 正(67)現、二期、党総務
- 16 南 野 知恵子(56)新、前日本赤十字看護大学教授
- 17 田 辺 哲 夫(62)現、一期、党労働局長
- 18 田 沢 智 治(59)現、二期、党文教局長
- 19 檜 崎 泰 昌(63)新、元北海道開発庁事務次官
- 20 宮 崎 秀 樹(60)現、一期、労働政務次官
- 21 山 東 昭 子(49)現、三期、前科学技術庁長官
- 22 嶋 崎 均(68)前、四期、元法務大臣
- 23 長 尾 立 子(58)新、前厚生省社会局長
- 24 秋 山 肇(60)現、一期、法務政務次官
- 25 平 野 清(62)現、一期、環境政務次官
- 26 松 井 ひろみ(52)新、元都議會議員
- 27 山 口 光 一(62)現、一期、自由民主党本部事務局長

計 二七名(現一八名、前一名、新八名)

## 投票は最小で最大の政治活動

選挙区

# 宮沢候補・井上候補いざ出陣!

(広島区)

(千葉県区)

## 宮沢候補に熱い支援を

七月八日午前八時半から、中区磯町の選挙事務所前で出陣式が挙行された。支持者三千五百人の前で「一國平和主義は国際社会では通用しない。ともに汗を流すための仕組みがPKO法だ」と第一声をあげた。

### 参院選公示

の八日、午前八時三十分より、広島市中区磯町の宮沢弘選挙事務所において、事務所開所式並びに出陣式が行われた。

厳粛な神事後、九時より木山千之郎議の司会による出陣式に移り、冒頭挨拶に立った宮沢選挙総括担当者である藤田雄山参議は、「選挙区選挙の得票数は比例区にも影響を及ぼすことになる。ただ勝てば良しとせず、宮沢候補のため、自民党のため、最大限の支援を願う」と述べた。

続いて党県連会長の増岡博之衆議は、先の参院本会議に触れ、「牛歩戦術、議員辞職願の提出など、無責任な党に国政は譲れない」と強い調子で自民



支援者の激励に手を振る宮沢候補

党支援を訴えた。

その後、来賓として出席の谷川和穂衆議、佐藤守良衆議、栗屋敏信衆議、松山俊宏県会議長より各々激励のメッセージ、支援要請が述べられたのに続き、松田仁・河合康行両県議によって、宮沢喜一

からの激励電報の披露が行われた。

最後に大山広司党県連幹事長の音頭による万歳三唱となり、選挙カーに乗り込んだ宮沢候補は、会場を埋めた三千五百名の拍手に送られ市内街宣へと出発した。

政治は国民一人ひとりが参加して作り上げるものである。我々の主張と希望を実現すべく、投票日まで後援会員獲得でみせたデンタルパワーの総決算を見せよう。

## 井上候補力強く第一声

千葉県庁前において八日午前九時半から、自民党の井上ゆたか候補(前文部大臣)の出陣式が挙行された。支持者二千人の前で「福祉と教育に努力したい」と決意を述べた。

井上ゆたか候補は七月八日午前九時三十分から、千葉県庁前において、力強い第一声を上げた。千葉県内選出自民党国會議員、県議等より、会場を後援会事



ダルマに必勝を誓う井上候補

務所へ移し、「清政い並びに必勝祈願の神事」を滞りなく済ませた後、出陣式を挙行了。会場には神事執行前から参加者が続々と集い、開式時には二千人近い人々で会場が一杯になった。

日歯政連からは柴田副会長が駆けつけ、神事及び出陣式に出席した。出陣式は総括責任者、後援会連合会長、千葉県自民党選対本部長から夫々挨拶の後、激励の言葉が各界代表から行われた。

宮沢総理からの祝電が披露された後、候補者の決意表明に移り、「五百七十万県民の付託に応え、県政と国政の架け橋の役を果たしたい。福祉と教育に努力したいので支援を願う」旨の挨拶がなされた。ダルマの目入れ、乾杯の後、候補者は直ちに遊説の途についた。

今回の選挙では、井上候補個人の圧勝と、比例区での大勝のため、少なくとも井上票百万票が目標となっています。そのため、千葉県に知り合いが在りの各位には、是非とも井上候補の応援を呼び掛けてほしいと、同選対本部ではお願いしています。

「エピソード」  
日刊紙でも採り上げられました。今回の選挙に当たり、井上陣営は環境問題等を配慮し、公示板以外へのポスターの貼布を一切取り止めました。支援者の一部には不安を訴える向きもあったそうですが、その方針に敢えて踏み切ったことに対し、極めて好意的な報道がなされています。

## 選挙区は個人名を 比例代表区は政党名を